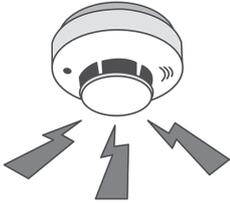


消防だより



お問い合わせ 上ノ国消防署 ☎0139-55-2071

住宅用火災警報器取り換えのすすめ



住宅用火災警報器（住警器）は火災報知機の一つで、主に一般住宅に設置され、火災の際に煙や熱を感知して音声やブザー音で警報する機器です。

消防法の改正により、平成23年7月からすべての住宅で設置が義務付けられており、設置する場所は寝室や階段などです。

住警器は古くなると中の電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に交換をおすすめしています。

設置時期を調べるためには、設置した時に記入した「設置年月」、または本体記載の製造年を確認してください。

平成22年に上ノ国町婦人防火クラブで寄贈した200個の住警器もまもなく10年経過しようとしていますので、設置時期や製造年、作動状況を確認の上、取り替えましょう。

上ノ国消防署 新職員の紹介



大お
口ぐち
悠ゆう
史し
・出身 乙部町
・年齢 24歳

上ノ国町民の安全で安心した暮らしに貢献できるような人材を目指し何事に対しても一生懸命全力で頑張りますのでよろしくお願いいたします。



川かわ
島しま
望のぞ
夢む
・出身 大留
・年齢 24歳

上ノ国町民のためにしっかりと働き、町民の皆様信頼される消防士になりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

INTERVIEW

まちのひと紹介 第3回 工藤 三代さん(字大留) 『待望の上ノ国の和菓子屋さん』



氏名：工藤 三代
年齢：33歳
趣味：グルメ

工藤さんは、高知県梶原（ゆすはら）町で生まれ、地元の高校、県内の調理師学校を卒業後、県内の和菓子店で10年間修行を積み、主に若者向けの商品開発を担っていたそうで、和菓子の洋風アレンジに力を入れ、ロールケーキやスイートポテト、プリンなどに和風のテイストを加えた商品が若者に人気を博していたとのこと。

これらの経歴を持つ工藤さんですが、実はレジ係として採用されたそうで、その際、同店の職人指導にあっていた社長の師が、仕込みの手伝いに入っていた工藤さんの仕事ぶりを見て、社長に職人として雇うよう進言し、職人としての第1歩を踏み出したという驚きのエピソードもあります。

そして30歳の時に、当時貴金属メーカーに勤めていた上ノ国町出身の夫・秀一郎さんと出会い、3年前の結婚を機に上ノ国へと移り住みました。

上ノ国に来てから2年間は和菓子を作っていなかったそうですが、和菓子職人だったことが人づてに伝わり、当時リニューアルを控えていた道の駅もんじゅで和菓子屋をオープンさせる構想が持ち上がったところ、工藤さんに白羽の矢が立ったとのこと。

現在は、夫の秀一郎さんと共に菓処あまのがわで日々和菓子を作り続けており、売上も好調で町内は勿論、最近は町外からの注文も受けるなど、徐々に浸透しているようです。

菓処あまのがわの和菓子やパンは、収益化の難しい添加物不使用の製法で統一され、国産、一部は町内産食材を使い、日持ちはしませんが飽きが来ず、特に子供などでも安心して食べさせることが出来るお菓子を作り続けており、今後はお土産などに選びやすい新商品の開発も試行錯誤しているとのこと。これからも新しい味を皆さんに提供できるよう常に新しい挑戦を続けていきたいとのことですので、応援よろしくお願いいたします。

